NEP2025
開拓コース

動物と人が接するあらゆる場面で生じる様々な社会課題の解決にむけた動物行動ビッグデータプラットフォームの開発

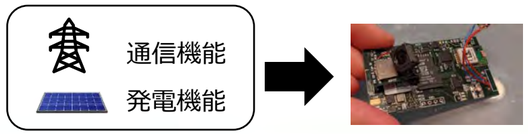
ビジネスアイディアの概要

- **課題**：獣害対策や家畜感染症、生物多様性保全などあらゆる野生動物関連の課題解決でアンケートや目視観察による情報収集、経験と勘に頼った対策が行われている
- **解決方法**：AIバイオロガーを用いて省電力に位置情報や画像情報を取得し、クラウドを介して社会課題解決に有用な情報を提供し、対策の立案を支援
  →現場負担の軽減と課題解決への貢献

AIバイオロガー

ビジネスアイディアを事業化するための課題

- LTE通信・ソーラー発電機能を搭載した商用バイオロガーのプロトタイプ作成・実証実験
- ユーザに情報を提供するクラウドソフトの開発
- 鳥獣害対策以外の新規ビジネスモデル（to G以外）の創出



商用バイオロガー開発

鳥獣害対策以外のビジネス仮説創出

事業化の見通し

- 自治体、野生動物管理会社などへのヒヤリングを実施し、実証実験に協力的な顧客候補を獲得済み
- モデルケースであるニホンザルの実験環境でのデータ収集・行動認識モデル構築、商用バイオロガーのプロトタイプ作成を進行中であり、今後は野猿公園や自治体での実証実験を行う。
- 他分野への応用に向けたヒヤリングと事業仮説の立案

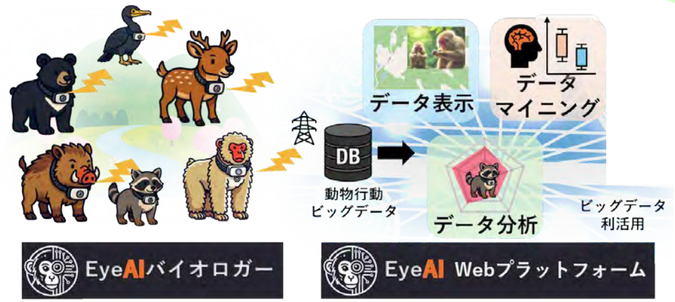
事業者情報

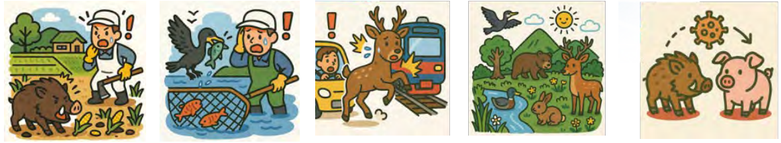
黒岩恒在（大阪大学大学院情報科学研究科M2）

チームメンバー：唐杉慶一(CEO)、前川卓也(CSO)、辻村千尋、大塚亮真、助川桃枝

EyeAI

ビジネスアイディア概要図等





農業・漁業
被害対策

動物事故
対策

企業CSR
活動

感染症
対策